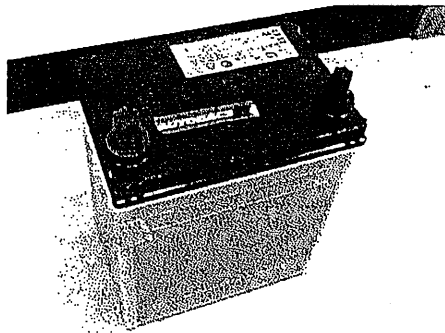


鉛バッテリー(カーバッテリー)による 電源バックアップシステム

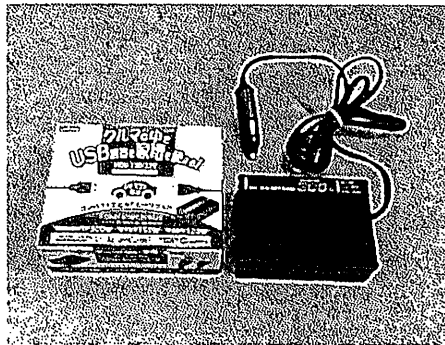
※このマニュアルは災害時の緊急事態に対応するための電源バックアップシステムの作成・利用を目的としたものですが、接続する機器の動作を保障することは出来ませんので、自己責任にて利用してください。

材料



鉛バッテリー(カーバッテリー)

12V用 38B19Rと型番がありますが、予算に合わせてBの前の数字が大きい物をお勧めします
価格は¥4,000~¥30,000くらいとかなりの幅があります。写真のバッテリーは¥4,000でした。



インバーター

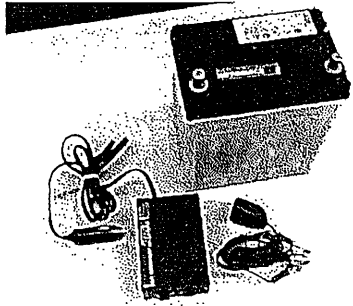
ワット数によって価格がかなり異なります。
今回は標準的な300Wを使用しています。
実際現場で使用する機器のワット数を確認して選定してください。
写真のインバーターは¥3,000でした。



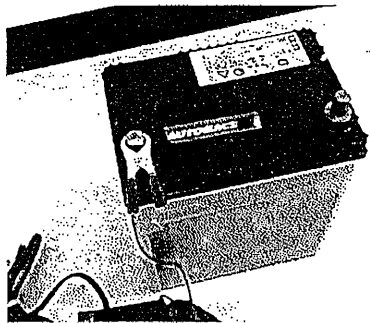
ワングチクリップソケット

鉛バッテリーとインバーターを接続するための中間ケーブルです。
写真のソケットは¥1,029でした。

作成手順1

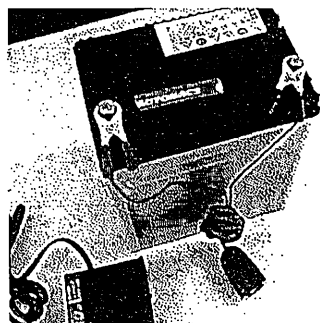


さあ、頑張って作ってみましょう。



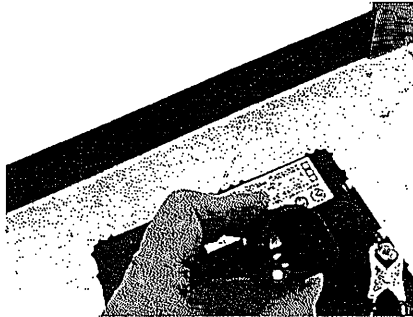
バッテリーの＋端子に赤のワニグチクリップを接続します

※＋・－端子を間違えないように注意しましょう

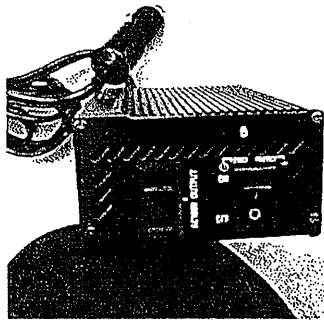


バッテリーの－端子に黒のワニグチクリップを接続します

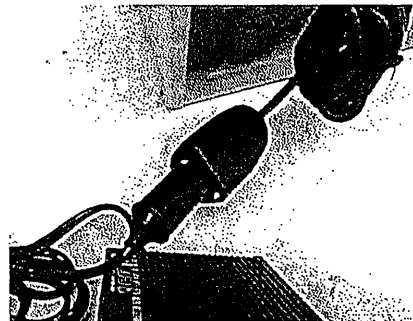
作成手順2



ソケットのランプが点灯することを
確認します。

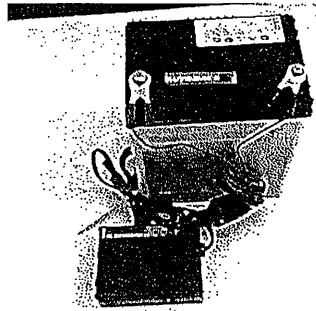


インバーターのスイッチが「OFF」になっ
ていることを確認します。

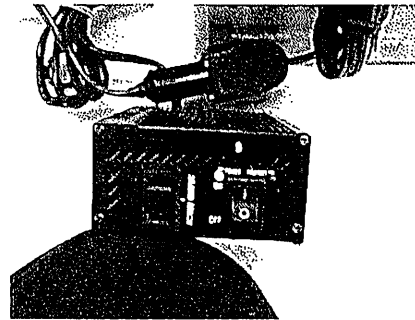


ソケットにインバーターのコンセントを
差し込みます。

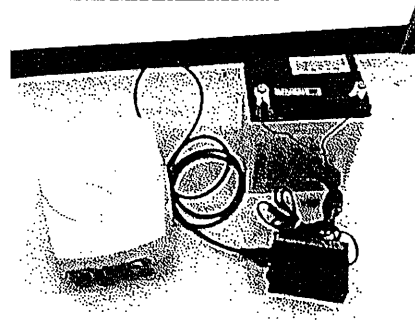
使用方法



作成手順通りの接続がされているか確認します。

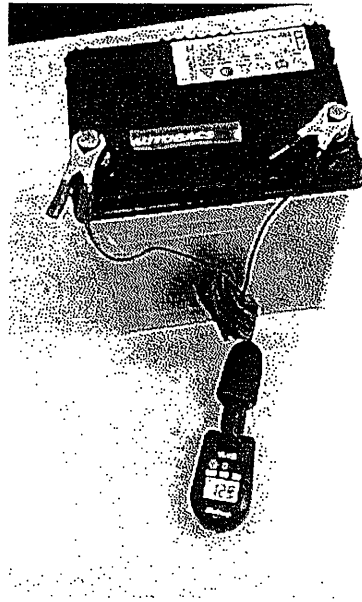


インバーターのスイッチを「ON」にします。



インバーターの容量(今回は300W)を超えない機器を接続し、機器のスイッチを「ON」にします。

バッテリーチェック

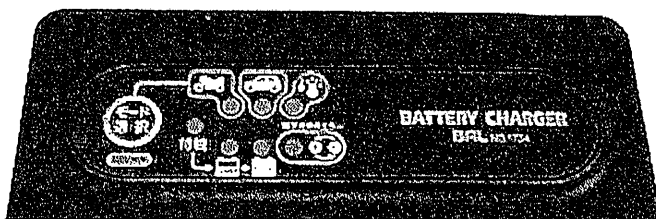
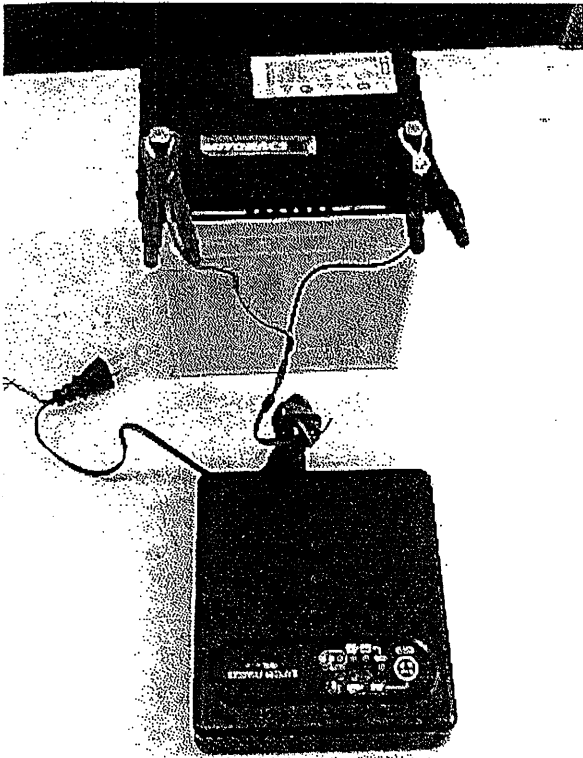


時々、バッテリー
チェッカーにてバッテ
リーの状態を確認し
ましょう。

充電

台風が近づいてくる場合やバッテリー使用後や2・3か月に1度くらいは充電を行いましょう。

充電方法は充電器によって異なりますが、写真の充電器では、バッテリーの+端子に赤クリップを接続し、-端子に黒クリップを接続します。「モード選択」ボタンを2度押しして車の絵のランプが点灯すると充電開始します。あとは、バッテリー満タンマークのランプが点灯すると充電完了です。



おまけ情報



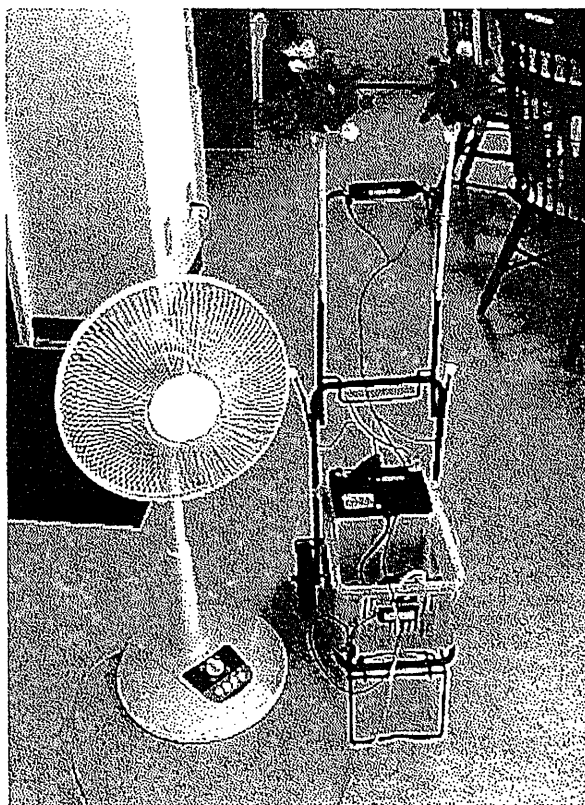
今回は標準的な価格のバッテリーを使用しましたが、予算に余裕があれば、←の BOSCH 55B19(実売価格 ¥1万円前後)をお勧めします。



接続する機器のワット数が分からない場合はワットチェッカーを使用して調べることが出来ます。

←のチェッカーは ¥3,000 くらいの商品ですが、お勧めは ¥8,000 前後の商品が良いと思います。

工夫次第では



バッテリーは重いので移動を
考えてカゴに入れたり、
キャリーカートに載せたりす
ることをお勧めします。
また、夜間の停電対策とし
て消費電力の少ないLEDの
電球を接続すると役にたつ
と思います。